

【子・ね・ne】

【亥・い・i】

【丑・うし・ushi】



【寅・とら・tora】

じゅう

に

し



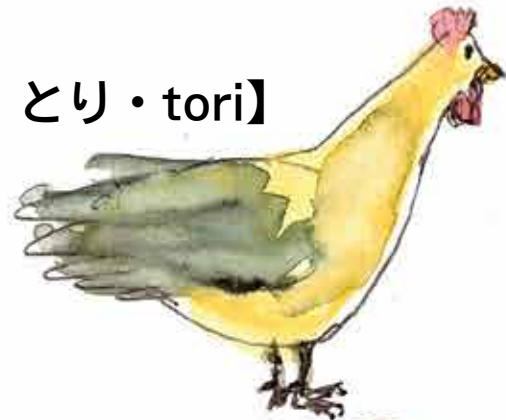
【戌・いぬ・inu】



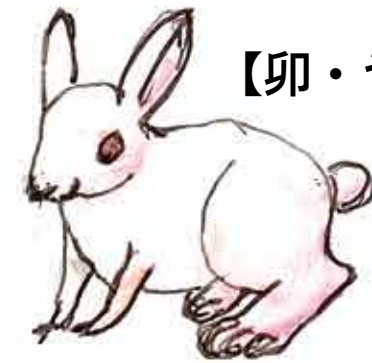
十二支

の

【酉・とり・tori】



【卯・う・u】



おはなし



【辰・たつ・tatsu】

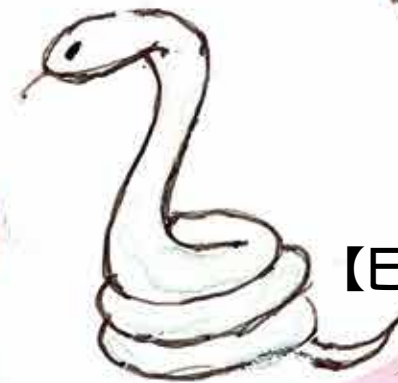
【申・さる・saru】



【未・ひつじ・hitsuji】



【巳・み・mi】



【午・うま・uma】



②

じゅうにがつの あるひ、 かみさまは、
どうぶつたちを あつめて いました。

(かみさま) 「いちがつ ついたちの あさ、

わたしの うちに しんねんの

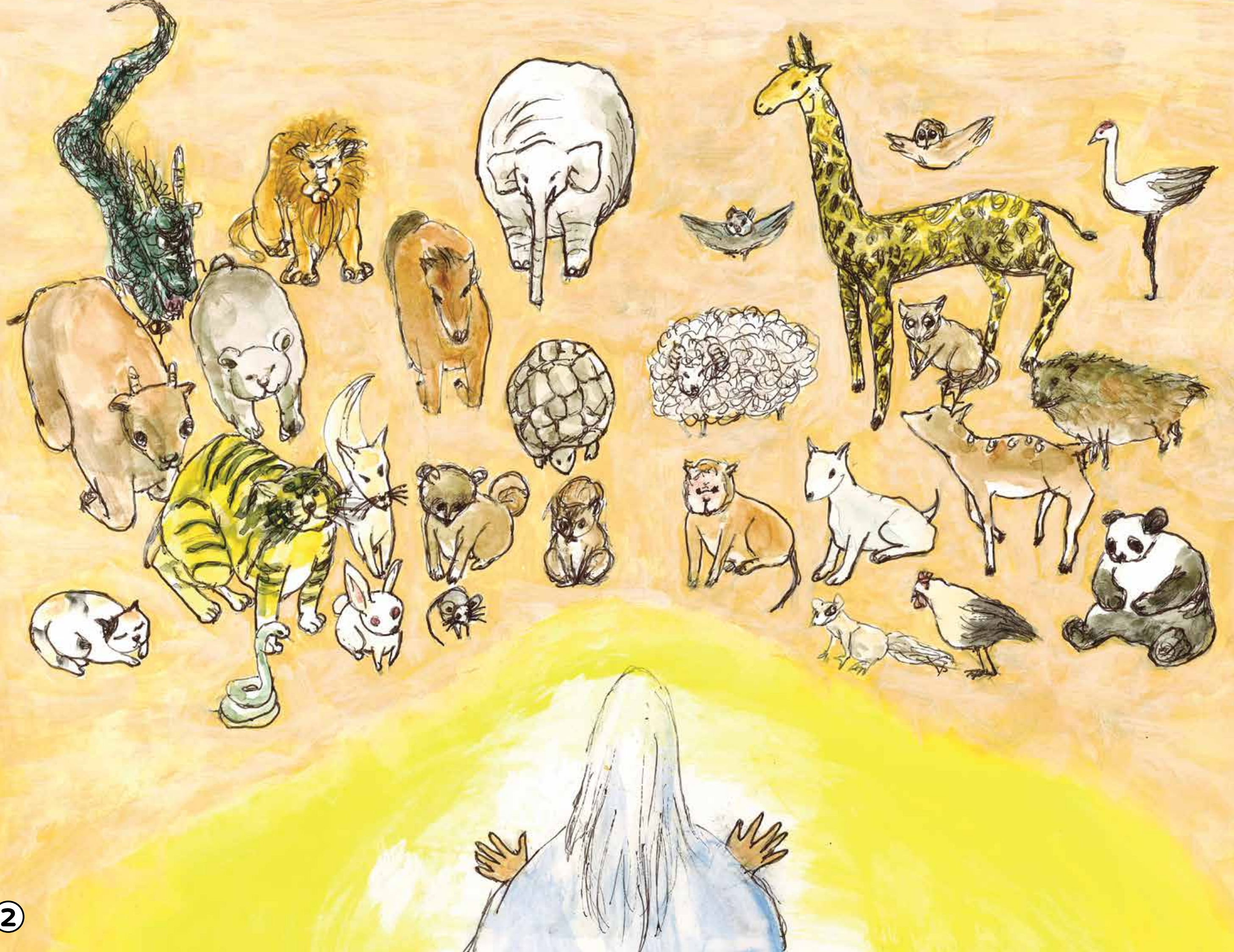
あいさつに きなさい。

いちばんから じゅうにばんまでに ついた

どうぶつたちの じゅんに、 いちねんずつ

そのどうぶつの としにしよう」





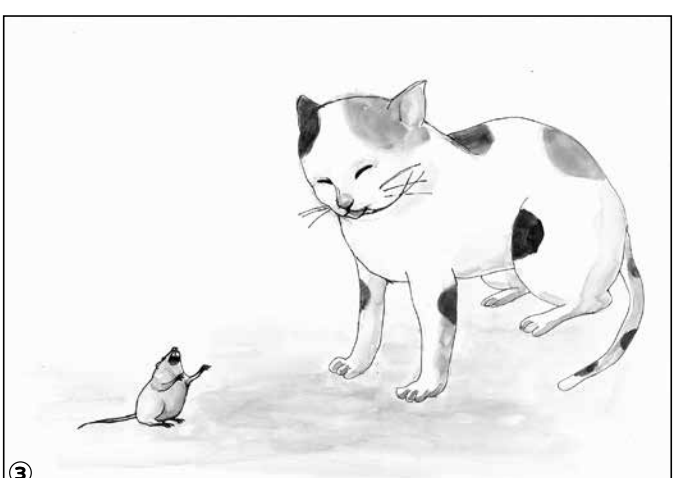
③

ところがねこはかみさまのはなしを
わすれてしまいました。

ねこはねずみにききました。

(ねこ) 「ねずみさん、いつかみさまの
ごてんに
あいさつにいくんだっけ？」

(ねずみ) 「いちがつふつかのあさだよ、
ねこさん」
ねずみはねこにまけなくなかったので、
うそをつきました。





④

さて、じゅうにがつ さんじゅういちにちの よるに
なりました。

(うし) 「わたしは あるくのが おそいから、

そろそろ でかけよう。」

うしは まだ くらいうちに いえを でした。

それを みていた ねずみは、 うしの せなかに

こっそり とびのりました。

うしは ねずみを せなかに のせて、

のっそり のっそり かみさまの ごてんを

めざしました。





⑤

いちがつ ついたちの よあけまえ。

ねずみを せなかに のせた うしは

やっと かみさまの ごてんに つきました。

おひさまが かおを だすと、

ついに ごてんの もんが あきました。

うしが なかに はいろうとしたとき、ねずみが

(ねずみ) 「おんきにー！」

といて、はしっていききました。

うしは びっくりして

(うし) 「もおおおおお！」

と さげびました。

ねずみは いちばんめ、

うしは にはんめになりました。



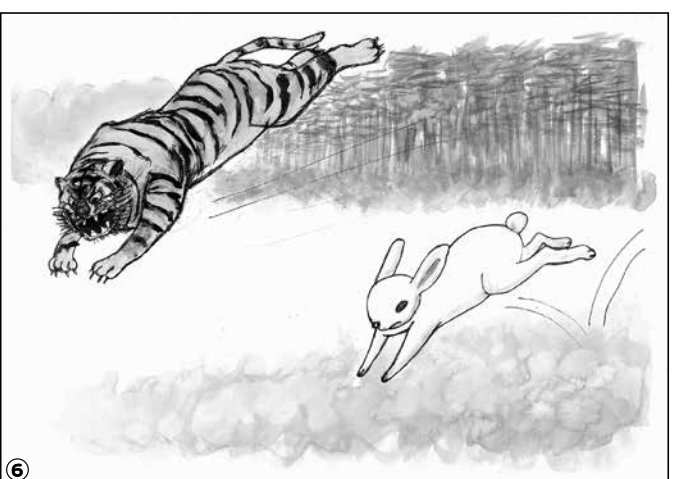


⑥

(とら) 「わたしが いちばんだ！ がおおおお！」
といって、 とらが はしってきました。

そのあとに うさぎも ぴよんぴよん
はねて やってきました。

とらは さんばんめ、 うさぎが
よんばんめに なりました。





⑦

つぎに あらわれたのは、 たつと へびです。

たつは そらを すいすい、

へびは じめんを によろによろ、

どちらが かつか きょうそうしていました。

たつは ごばんめ、

へびは ろくばんめに なりました。





⑧

さて、うまと ひつじは ぐってんに いく とちゅう、
みちくさを していました。

(うま) 「あ！ いかないと、 ひひーん！」

うまは たつと へびが きょうそうしているのを みて、
あわてて はしりだしました。

(ひつじ) 「あ！ まってよ、 めええええええええ！」

ひつじも うまの あとを おいかけました。

うまは ななばんめ、 ひつじは はちばんめに
なりました。





⑨

そのころ、さると いぬは けんかを していました。

(さる) 「うきー！ わたしが さきだ！」

(いぬ) 「わんわん！ いや、わたしが

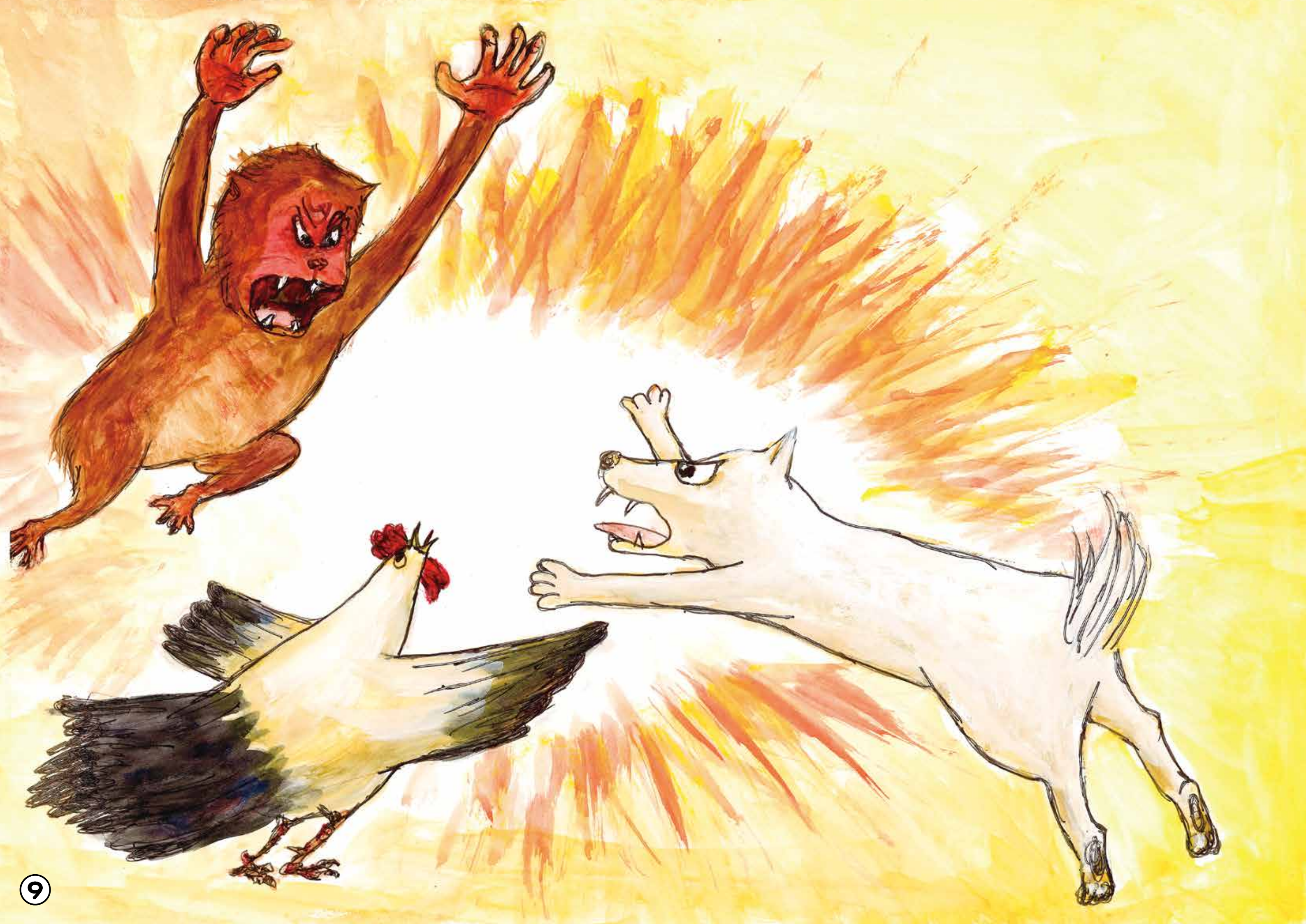
いちばんに なるんだ！ わん！」

そこを とおりかかった にわとりが、 さると いぬの
あいだに はいりました。

(にわとり) 「こけこっこー！ けんかは やめて！」

さるは きゅうばんめ、 にわとりは じゅうばんめ、
いぬは じゅういちばんめに なりました。





⑩

あさねぼうをした いのししは、いきおいよく
とっしんしてきました。

ずぶずぶずぶずー！

あまりにも はやく はしりすぎたので、
ごてんを とおりすぎてしまいました。

(いのしし) 「しまった！ いきすぎた！」
といて、 また もどって きました。

いのししは じゅうにばんめに なりました。





⑪

こうして ねずみ、うし、とら、うまぎ、
たつ、へび、うま、ひつじ、さる、にわとり、
いぬ、いのしが そろいました。

(かみさま) 「やくそくどおり、ねずみさんから
じゅんばんに、いちねんかんずつ
どいづつのとこにしよー」

これが じゅうにの はじまりです。





たげんこ たの
— 多言語で楽しむおはなし —

じゅうに し

十二支のおはなし

2023年3月 初版第1刷発行

発行 公益財団法人 三重県国際交流財団
〒514-0009 三重県津市羽所町 700
TEL 059(223)5006 / FAX 059(223)5007
印刷・製本 伊藤印刷株式会社
〒514-0027 三重県津市大門 32-13
TEL 059(226)2545 / FAX 059(223)2862



この教材は、共同募金会配分金を活用して作成しました。

⑫

つぎの ひの あさ、 だれもない ーごてんに
ついた ねこは おおきなこえで いいました。

(ねこ) 「わたしが いちばんだ。 にゃー！」

それを きいて かみさまは いいました。

(かみさま) 「ねこさん、 みんなが あつまったのは

きのうだよ。 ねぼけているのかな？」

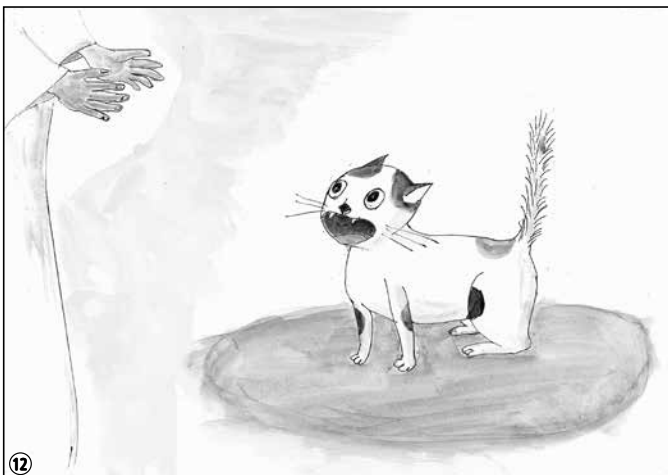
かおでも あらっておいで。」

かみさまに そう いわれたので、

ねこは よく かおを あらうように なったそうです。

そして、 ねずみに だまされた ねこは、

いまも ねずみを おいかけているそうです。





十二支のおはなし

脚本 外国につながる親子のためのおはなし教材制作委員会

画 川西みどり

企画・発行 公益財団法人三重県国際交流財団

①

みなさん、こっちは 〇〇でございます。

(〇〇に そのとしの えとを 入れる。)

にほんでは としに どうぶつのは なまえが

ついています。 どうしてでしょう。

いまから そのおはなしを します。

